

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。

さっぽろ 市議団ニュース

＜第2回定例会＞

2015年7月9日

No. 134

日本共産党札幌市議団 事務局

tel 211-3221 / fax 218-5124

自転車安全に走行できる空間の確保を

小形かおり議員が質問

日本共産党の小形かおり議員は7日、議案審査特別委員会で「歩行者と自転車の共存する空間の創出事業」について質問しました。

駅前通の南1条から南4条は、市電のループ化（サイドリザベーション方式＝車道の歩道寄りを走行）に伴い、自転車は歩道を押し歩くことが求められることから、西3丁目線（北向きの一方通行）に自転車の走行空間を確保する予定で、そのための実証実験が昨年行われました。

小形議員は、「実証実験の結果、朝などバス停付近で自転車とバスが交錯し危険な状態であり、“自転車とクルマの分離等の対応が必要”とされているが、どのように対処される考えか」「北向きと同様に、南向きの一方通行（西2丁目線・西5丁目線）の自転車走行空間の整備も不可欠ではないか」と求めました。

手島総務部長は、「西3丁目線はバスの数が約260便で、（交錯し危険な状態）を解決するにはバス停付近に自転車が走るのに十分な幅員の確保が理想」「南向きの走行空間の整備も必要不可欠と認識している」とのべました。

小形議員は、安全な走行空間を確保するために「3車線のうち右側1車線を自転車の走行車線とすることも検討すべき」と求めました。

除排雪は切実な問題、交差点除雪は住民の声を聞いてすめよ

池田由美議員が質問

日本共産党の池田由美議員は7日、議案審査特別委員会で除排雪対策について質問しました。今回の補正予算で小型除雪機のリース補助や交差点除雪の強化がもりこまれています。

池田議員は、「除排雪は切実な問題だが、小型除雪機のリース補助120万円では1区に1台程度の補助であり、これで足りるのか、どのように扱っていくのか」「1万6千カ所の交差点除雪を行うというが、住民の声を聞いて場所を選定すべき」「排雪用のダンプトラックは足りるのか」とたどしました。

添田雪対策室長は、小型除雪機のリース補助について「地域の実情をつかんでいる各区の土木センターの声を聞きながら雪対策室が窓口になってすすめていく」、交差点除雪については「幹線道路と生活道路のすべての交差点と、小学校周辺の通学路などを行い、地元の方々の声を聞いてすすめたい」「ダンプトラックの確保についてもできると伺っている」と答えました。